

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名	No. 550526 地域支え合い体制づくり事業費					主管課名	高齢福祉課				
	この事務事業 の位置	政策	誰もが健康で生きがいのある暮らし					課長名	深谷幸広			
		施策	みんなで助け合える福祉のまち									
		基本事業	高齢者に安全・安心な地域社会の推進									
(1) 事業の概要												
認知症高齢者等の徘徊に対応するため、警察等関係機関を含め、市民が幅広く参加する徘徊高齢者の捜索・発見・通報・保護や見守りのためのネットワーク（徘徊・見守り SOS ネットワーク）を構築する。						(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						認知症サポーター養成講座の開催回数		回				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		認知症サポーターの養成 みよし安心ネットへの登録の呼びかけ 行方不明者の捜索模擬訓練の実施										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	徘徊高齢者家族支援サービス事業と統合する。									
(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
市民						名 称		単 位				
						人口(年度末)		人				
						その指標						
(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
講座を受講し、市民に認知症サポーターになってもらうことで、認知症に関する知識の普及を行う。 みよし安心ネットへの登録を呼びかけ、行方不明者が発生したときに早期発見のため協力を依頼する。						名 称		単 位				
						サポーターの人数		人				
						みよし安心ネットへの登録者数		人				
						その指標						
(4) 結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して住み慣れた地域で生活してもらう						名 称		単 位				
						行方不明者の出現数		人				
						その指標						
(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		回		18	20	20	20	20				
(6)の対象指標		人		58,762	60,600	61,400	62,500	63,700				
(7)の成果指標		人		4,597	6,000	7,500	9,000	10,500				
		人		235	300	400	500	600				
(8)の結果の成果指標		人		0	0	0	0	0				
(10) 予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
(11) コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費 (決算又は予算額)		単位	0	368	0	0	0	0				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	0	368	0	0	0	0				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	0	0	0	0	0	0				
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0				
	人件費 B		千円	0	376	376	376	376	376			
正職員従事時間×人数		時間×人	×	50×2	50×2	50×2	50×2	50×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用 C		千円										
トータルコスト A+B+C		千円	0	744	376	376	376	376				
単位あたりコスト (トータルコスト / (6)の対象指標)		千円/人		0	0	0	0	0				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 550526 地域支え合い体制づくり事業費	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成23年度 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 愛知県の実施する「徘徊・見守りSOSネットワーク構築事業」として、みよし市が実施した。	認知症高齢者が徘徊で行方不明になった際に、Eメール等で速やかに地域の支援者に行方不明者情報を提供し、捜索活動に協力いただき、早期発見に努めることを目的として「徘徊SOSネットワーク情報配信システム」を運用した場合に、市民に、そのシステムをいかにPRし、たくさんの市民に加入してもらい、その協力をえることができるか。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	認知症対策等総合支援事業実施要綱 認知症の理解促進と高齢者の見守り体制を構築する		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	地域や学校のほか、市内の会社等でのサポーター養成講座開催	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	3年ごとに見直される高齢者福祉計画兼介護保険事業計画において検討する。					